

2 衛生業務員への教育・研修カリキュラムについて

(1) 始業時ミーティングの実施

毎朝、始業時ミーティングにおいて、以下のことについて周知・再確認を図っている。

- ① 市民感覚を大切にし、最後の葬送の場としてふさわしいサービスを提供すること
- ② 報告・連絡・相談を徹底し、チームワークを大切にすること
- ③ 職員間で問題点を共有し、事故の無い職場づくりを行うこと 等

(2) 職員研修への出席

本市行財政局人材活性化推進室が実施する「管理監督職員の育成研修」や「政策提案・業務活動支援研修（政策形成力強化）」等の研修に課長補佐・主席職員を出席させスキルアップを図っている。

(3) OJT研修

ア 火葬業務

火葬技術については、御遺体の状況が故人により異なるため、基本的にOJTにより、上司及び先輩職員から、①火葬機械の構造、②コンピューターによる制御システムの理解はもとより、③燃焼温度、④炉圧調整、⑤再燃バーナーの使用時期などの火葬に関する技術を衛生業務員に研修を行っている（よりお骨を綺麗に残す方法やお骨の残りにくい胎児等の遺骨を出来うる限り残す火葬技術等）。

イ 収骨業務

収骨は、ほとんどの場合、葬祭業者が行っているが、中には葬祭業者を通さずに中央斎場を個人で利用される方もあり、その場合は衛生業務員が収骨業務を行う。その際に、経験の少ない衛生業務員を付き添わせることで技術力の向上を図っている。また、火葬終了直後にお骨の種類等（のど仏など）を上司や先輩職員が経験の少ない衛生業務員に示し、説明・指導している。

ウ コントロールルームでの指令研修

全体の火葬状況を常時コントロールし、中央斎場に到着した御遺体について、4ブロックあるホールのどこを使用するかを指定するが、受付とのやりとりをはじめ、全体の運用状況を把握できるまでに、相当の経験が必要である。

エ 告別室での接遇研修

最後のお別れとなる告別ホールでの遺族対応、棺台車操作等、先輩職員から個別指導による研修を実施している。

3 業務委託料の内容と支出内訳について

(単位：千円)

件名	21年度決算	22年度決算	23年度決算
火葬設備定期保守点検	12,915	12,915	12,915
動物炉排ガス処理設備保守点検	10,710	9,198	8,189
常駐警備	10,080	10,332	10,584
庁舎清掃	9,786	7,812	6,899
植物維持管理 (除草・芝刈)	5,145	5,166	5,208
植物維持管理 (剪定・施肥・害虫駆除)	5,481	5,460	5,481
空調設備管理	2,289	2,257	2,205
自動ドア設備管理	1,264	1,355	1,625
聖土槽管理	3,497	2,352	2,163
公害測定	1,523	1,311	851
その他	2,295	2,363	2,854
合計	64,985	60,521	58,974